



うるわ

美しき魂

学校通信 日置市立伊集院中学校

令和5年3月22日第12号

“正しく、直く、潔き真の心”

卒業に寄せて～自分は4人いる～

校長 田中 準章

3月14日、173名の3年生が巣立ちました。彼らの中学校3年間はコロナ禍の中、多くの制限を受けてきましたが、卒業式では、生徒は全員マスクを外しての参加となりました。久しぶりに見るお互いの表情は新鮮であり、笑顔いっぱいであり、やっぱりいいですね。保護者の入場も各家庭2名と拡大され、体育館が卒業を心から祝う温かい空気に包まれ、とてもいい卒業式でした。私も全員に卒業証書を手渡しましたが、みなとてもいい表情をしていました。この日を無事迎えられたことへの達成感と感謝の心、これからの人生への希望に満ちた素敵な瞳でした。最後の卒業合唱は3年生の心が一つになった圧巻の大合唱でした。とても感動しました。



さて、卒業式の式辞で、卒業生の皆さんの門出を祝し、はなむけとして「自分は4人いる」という話をしましたので、以下に紹介します。

1人目は自分も周囲の人もみんなが知っている自分です。いわゆる「開放された自分」です。この「開放された自分」が多ければ多いほど、周囲の人との親近感や信頼感が高まり、コミュニケーションが円滑に進みます。自分をどれだけオープンにしているか、ということが大切です。

2人目は自分は知っているが、周囲の人は知らない自分です。いわゆる「秘密の自分」です。人は誰でも他人に知られたい自分があります。コンプレックスであったり、トラウマであったり、隠しておきたい自分。でも、そんな自分をあえて開放してみると、人は案外そのことを理解・共感し、認めてくれたりします。相手との距離もぐっと縮まります。すると1人目の「開放された自分」が増えます。

3人目は自分は知らないが、周囲の人は知っている自分です。いわゆる「盲点の自分」です。人から思わぬ指摘を受けることが多い人は、この「盲点の自分」が多いのかもしれませんが、自分ではあまり気づいていない考えや行動のクセが多いことを意味しています。時には誰かを知らず知らずのうちに傷つけてしまったりしているのかもしれませんが、逆に自分には気づいていないすごい才能があるのかもしれませんが、大切なのは、人からの指摘や忠告を自分のためだと思って素直に聞けることです。「盲点の自分」を減らすことによって、「開放された自分」を増やし、自分の成長に繋げましょう。

そして、4人目は自分も周囲の人も知らない自分です。いわゆる「未知の自分」です。3人目までは現在の自分ですが、この4人目は将来の自分です。誰も知らないわけですから、自分の可能性を自由に描けます。こんな自分になりたい、こんなことに挑戦したい、こんな活躍をしたい、などと4人目の自分を大いに語りましょう。いつでも、どこでも、何度でも。すると今までと違った新しい行動をとるようになり、これまで会ったことのない自分に出会うことができます。つまり4人目の自分はあなたの人生の伸びしろなのです。

「盲点の自分」を受け入れ、「秘密の自分」をさらけ出し、「開放の自分」を大きく増やしてコミュニケーション能力を育み、自由に描いた「未知の自分」に出会ったとき、皆さんはぐんぐん成長し、それぞれの未来が大きく拓けていくのだと思います。何度も言いますが、皆さんの将来は自分で描いたようになるのです。

みなさんは、これからそれぞれの道を進み、新しい世界で、それぞれの人生を築いていきます。この伊集院中学校で培った**気力と英知とたくましく生きる力、「美(うるわ)しき魂」の精神**をもって、これからの予測困難な激動する社会を乗り越え、力強く、大きく世界へ羽ばたいていってください。

(以上、卒業式「式辞」より)

1、2年生の皆さん、それぞれ進学します。先輩たちが築いてくれた、良き伝統を継承し、新たに創造していくのはみなさんです。どんな素敵な1年をみなさんが築いてくれるのかとても楽しみです。来年度も新たな気持ちで頑張りましょう。保護者の皆様、この1年たいへんお世話になりました。来年度も引き続きよろしくお祈りいたします。

転退職教職員紹介

令和5年度の鹿児島県教職員定期人事異動で、9名の先生方が転退職されます。本校への永年のご功績に深く感謝申し上げますと共に、今後のご活躍を祈念しております。

- ◆ 教頭 藤原 隆哉 【喜界町立喜界中学校 校長】
- ◆ 教諭 濱田 出穂 【南さつま市立加世田中学校】
- ◆ 教諭 前田 富士美 【鹿児島市立吉野中学校】
- ◆ 教諭 羽生 和子 【鹿屋市立第一鹿屋中学校】
- ◆ 教諭 上之園 諭子 【南九州市立知覧中学校】
- ◆ 教諭 仮屋 朱美 【鹿児島市立伊敷台中学校】
- ◆ 講師 花牟禮 剛 【期限満了につき退職】
- ◆ 講師 松木 菫 彩 【期限満了につき退職】
- ◆ 講師 竹之内 希美 【期限満了につき退職⇒鹿児島市立和田中学校へ新規採用】

《辞任式お知らせ》

日時：令和5年3月24日（金）
11時05分～11時50分
会場：伊集院中学校体育館
※ 卒業生は、10時40分
に武道館へ集合します。

鹿児島学習定着度調査結果

1月17日（火）、18日（水）に県一斉に1, 2年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」が実施されました。県が示す身に付けてほしい学力がどの程度定着しているかはかるもので、目標は通過率70%以上です。結果は右のとおりです。この結果を分析し、特に通過率が低かったところなどを補充学習するなどして、基本的事項の定着をはかっていきます。

		国語	社会	数学	理科	英語
2年	本校平均	77.5	56.3	72.0	61.8	74.3
	県平均	71.0	54.9	72.6	62.5	67.8
	県比	6.5	1.4	△0.6	△0.7	6.5
1年	本校平均	72.7	65.1	73.9	70.4	76.8
	県平均	70.4	68.5	70.9	63.2	75.7
	県比	2.3	△3.4	3.0	7.2	1.1

新学期以降のマスク着用について（一部抜粋）

- 新学期以降のマスク着用の考え方について、次のように見直しがありましたので、ご確認ください。
- 生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とします。
 - 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない生徒もいることなどから、学校や教職員がマスク着用を強制しないようにします。

美しき魂の足跡(表彰関係)

- ◆ スポーツタニヤマチャレンジカップ中学ソフトテニス大会
女子ダブルスAクラス 優勝
3位
- ◆ プロエース杯県中学校女子ソフトテニス垂水大会
B級 3位
- ◆ 統計グラフ全国コンクール
統計検定4級（活動賞）
② ② ②
- ◆ 島里旗中学校野球大会
Bパート 敢闘賞 ②
- ◆ 第8回山崎杯中学校女子バレーボール大会
敢闘賞 3位リーグ1位
- ◆ 若き音楽家たちのコンサート
入選 ①
入選 ②
- ◆ 新田神社奉納剣道大会
男子団体 優勝
女子団体 敢闘賞（ベスト8）

4月の主な行事予定

4/6(木)	新任式、始業式 ※給食なし、午後下校 入学式（14:00～）
7(金)	いじめ問題を考える週間（～12日） 教科書配付① 知能検査（1年）② 進路適性検査（2年）② QU（3年）② 標準学力検査（全学年）③④
8(土)	学級PTA・専門部会
10(月)	土曜授業 標準学力検査（全学年）①～③ 総合オリエンテーション（学年別①～③） 身体計測（2年）③④ 学校生活・学習オリエンテーション⑤
11(火)	クラス写真撮影③ 生徒会対面式・部活動紹介⑤⑥
12(水)	身体計測（3年）①② 教育相談会（13,14,17,19,20,21日）
13(木)	心臓検診（1年）
14(金)	構成的グループエンカウンター③ 学級専門部役員決め④
18(金)	全国学力・学習状況調査（3年） （国・数・理・質問） 腎臓検診1次（～19日）
20(木)	地区当初学校訪問
21(金)	避難訓練（地震・火災）④
24(月)	専門部会・代議員会
26(水)	交通安全教室④
27(木)	歯科検診（3年）

校内研究授業の取組(3月)

鹿児島県では、学力向上策の一環として、「未来の創り手を育成する学力向上プログラム」と称し、全ての先生方が授業改善に取り組んでいます。本校でも3年間で計画的に実施しています。先日実施された授業を紹介します。
＜3年理科＞

「地球環境と私たちの社会」の単元から、「30年後を見据えて主要な電源をどうするか」について考えました。当初は、風力など自然エネルギーを利用したらとの意見が多数になるかと思いましたが、先生が示した1枚の合成写真(伊集院町の高台に風力発電)を見ると、皆の顔が複雑に(家の近くで安全?騒音は大丈夫?...)それでも自分は必要だ、いや自分は〇〇の方がよい等、個人やグループで意見交換したり、タブレット端末で調べながら自分なりの考えをまとめていきました。まさに「主体的・対話的で深い学び」を通して生徒一人一人が自分事として真剣に考える授業が展開されていました。

